

# エクアドル

## KAOKAの歴史あるサプライチェーン



### CECAOの輸出体制

**2000**年 プロジェクト始動  
**5 408**ヘクタール 認証カカオ栽培地面積<sup>(1)</sup>  
**1 711**トン オーガニック・フェアトレード・カカオ生産量<sup>(1)</sup>  
**10**名 現場技術者<sup>(1)</sup>

### カカオ生産者

**1 496**名  
パートナー生産者<sup>(1)</sup>

**3,6**ヘクタール  
生産者1人当たりの栽培面積<sup>(1)</sup>

**1 281**名  
農学研修に参加した生産者<sup>(1)</sup>

### プロジェクト:農園の再生と生態系の回復

**236**ヘクタール  
再生された農園<sup>(2)</sup>

**229 179**株  
接ぎ木、配布された苗木<sup>(2)</sup>

**8 749**株  
栽培、配布された  
シェードツリー<sup>(1)</sup>

**370**ヘクタール  
生態系の多様性向上のため  
再生された森林<sup>(1)</sup>

**3 472**リットル  
有効な微生物(堆肥)<sup>(1)</sup>

### 森林破壊ゼロ



**100%**

100%の農園区画をGPS管理<sup>(3)</sup>

**83%**

GPS管理された区画境界線の割合<sup>(3)</sup>

<sup>(1)</sup> 2022年 <sup>(2)</sup>2020年、2021年、2022年

<sup>(3)</sup>※2022年 新しい生産者組合が統合された場合、年次で変動する可能性があります

## QUALITÉ

品種: ナショナル

### アロマプロファイル

トップノート:

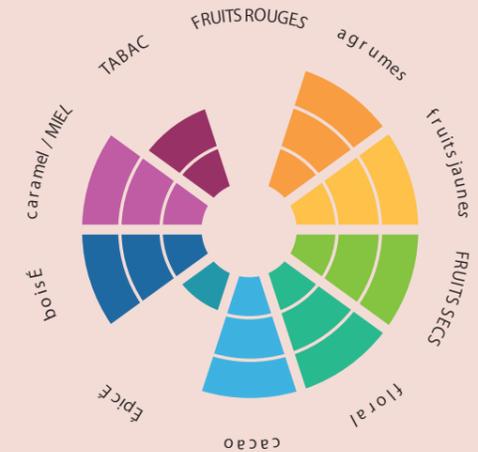
- フローラル: バラ、ジャスミン
- 柑橘: レモン、オレンジ
- フレッシュフルーツ: リンゴ、洋ナシ
- ナッツ: アーモンド、ヘーゼルナッツ、レーズン

ボディノート:

- バランスのとれたカカオ感、チョコレート

ラストノート:

- リコリス
- 温かみあるタバコのノート
- キャラメル



### 発酵方法

KAOKA プロトコル:  
カスケード型に配置された木箱にて  
8時間以内に持ち込まれたカカオ豆を  
温度管理の上、発酵させる

### 乾燥方法

- 木製またはコンクリート製の乾燥台で天日干し
- サーマルドライヤーによる乾燥(雨天時のみ)

### 各種認証



<sup>(1)</sup> 2022年 <sup>(2)</sup>2020年、2021年、2022年

<sup>(3)</sup>※2022年 新しい生産者組合が統合された場合、年次で変動する可能性があります

# エクアドル

## KAOKAの歴史あるサプライチェーン



エクアドルのサプライチェーンは、KAOKAが取り組む産地の中で、最も歴史のあるカカオプログラムです。ここで重要な役割を果たしたのは、KAOKAの創業者であるアンドレ・ドゥバール氏です。彼は、生産者が従来依存していた数々の仲介業者を通さずに、カカオを直接取引することで、生産者とKAOKAの関係性を強化することに成功しました。

### 共通の野心で結ばれた生産者と KAOKA

2000年、アンドレ・ドゥバール氏がチョコレート加工用の高品質カカオを求めてエクアドルに到着したとき、エクアドルの生産者たちは、アロマティックカカオであるナショナル種の減収(農園の老朽化と病気のため)と、低品質のハイブリッド種との競争に直面し、国際市場に向けて自分たちのカカオを売り込む必要性に直面していました。そして欧州連合の支援により、ナショナル種を救う野心的なプロジェクトが開始されました。このプロジェクトに続いて、KAOKAのサプライチェーンが築かれました。

生産者は農園の改修に係るサポートを受け、国の遺産であるナショナル種カカオの栽培を行いながら、良好な収穫量を得ることができるようになりました。そしてKAOKAは、この上質なアロマティックカカオを持続可能な方法で購入し、最高のチョコレートを作ることと約束します。

### CECAO：独自のモデル

2013年、生産者とのパートナーシップが発展し、カカオ輸出企業CECAOが誕生。小規模生産者の協同組合もKAOKAとともに株主として経営に参加しています。長期間にわたる強いパートナーシップの賜物です！

### ARCプロジェクト - 農業生態学的再生カカオ

エクアドルのARCプロジェクト(897万ユーロの官民プロジェクト)は、ペルーで行われているプロジェクトとは方針が異なります。保護すべき原生林がなくなって久しいエクアドルでは、太平洋側における農業生態学的手法の導入は極めて重要になります。

一方では、老いたナショナル種の農園再生プログラムによって、このカカオの卓越した品質を維持できるだけでなく、カカオ生産者の収入も増やすことができます。この地域の農園におけるカカオ収穫量を増やすことで、アマゾン流域への人口流出や、前線開拓を避けることができます。

他方、ARCプロジェクトは、各生産地の保全課題(残存林、劣化した森林の再植林、水路の保護)を定義することにつながりました。生産ゾーンと保護ゾーンを特定するために、広範なマッピング作業が行われました。このプロジェクトは2023年に結実し、約40の保護協定が結ばれる予定です。この協定により、生産者は自分の農園とその周辺の生態系の保護と回復を約束することになります。



## ロサ・ペレス氏

CECAO  
カカオスペシャリスト／品質管理責任者

「アンドレ・ドゥベール氏(KAOKA創業者)と出会ったのは、彼が初めてエクアドルを訪れた2000年のことでした。彼は、エクアドル産カカオの生産再開と品質改善促進を目的とした欧州連合によるプロジェクトのためにエクアドルにやって来ました。この初対面の後、KAOKAは協同組合への支援を決定しました。KAOKAは私に、収穫後のカカオの管理、カカオ豆の物理的・官能的分析、そしてナショナル種のエリートツリーの特定と保護を任せてくれました。

**私たちは20年以上にわたりKAOKAと手を携えて、CECAOのカカオ豆の品質を向上させ、カカオ加工工程の管理に取り組んできました。**

発酵工程の一元化は、品質向上に不可欠かつ重要なステップでした。収穫後、カカオ豆は集積センターに運ばれ、選別と計量を経て、4日半にわたる発酵が行われます。続いて、可能な限り良い状態で輸出できるよう、含水率が十分に下がるまで7～10日間、天日でゆっくりと乾燥されます。

私たちにとって、トレーサビリティは包括的なものです。組合から届いた小ロットのカカオは、購入週ごとにコード化されています。その後、物理分析であるカットテスト（豆の大きさ、発酵の割合、水分含有量）と、全バッチに対して実施されるカカオリカーの官能評価によって品質がチェックされます。このトレーサビリティと品質管理によって、KAOKAはチョコレート製造に使用するカカオを選別し、ブレンドすることができるのです。

私たちのノウハウとKAOKAのノウハウは補完関係にあります。私たちはともに、世界最高のチョコレートを作り上げるのです。



## ビクトル・レオン・ペレス

CECAO ディレクター



### CECAOのモデルは、エクアドルにおける革命でした。

カカオ生産者グループと企業が同じ組織内で連携することで、生産者はカカオ取引で確実に収入を得られるだけでなく、持続可能で公正なパートナーシップを形成することができるようになります。

こうした環境のおかげで、私たちは地球環境を保護し、生産者の生活を向上させるための長期的で具体的な行動を約束することができるのです。

CECAOのメンバーであるカカオ生産者は、会社の経営陣に対して透明性のあるコミュニケーションができます。

カカオ生産者とその家族の緊急医療時には、基金を使ってサポートすることができ、集積センターの加工インフラを改善することができ、エクアドルの若い世代のカカオ生産者を訓練し育成することができます。こうした一連のアクションのおかげで、私たちはナショナル種カカオの品質を維持しながら、栽培面積を増やすことなく農園の生産性を向上させることができるプログラムを実現することができるのです。



## エロイサ・ゲレーロ・ブラボ

CECAOブエナス・エルテ組合 カカオ生産者

KAOKAのおかげで、老朽化し生産性の低くなっていた私の農園を再生することができました。私たちにとっては接ぎ木された若いカカオの苗木を受け取ったことも大切なことなのですが、さらに素晴らしいことはKAOKA Foundationの技術者であるマリッサ・ザンブラノから学べたことです。田舎にいる私たちは無力で、サポートを得ることが難しい状況にあります。マリッサのアドバイスのおかげで、私は剪定、接ぎ木、そして残りの農地の再生方法を学びました。

